

# 西表島北東沖の海底地形調査\*

海上保安庁水路部

水路部では、平成3年度に測量船「天洋」により西表島北東沖の海底地形調査を行い、縮尺5万分の1の海底地形図を作成したので報告する。

調査期間 1991年4月25～26日

船 船 測量船「天洋」(430総トン)

調査方法 海底地形調査はナローマルチビーム測深機(ハイドロチャート)を使用し、海上位置は精密電波測位機(トリスポンダー)によった。

## 海底地形図の概要

調査海域の北西部には東西及び北西方向にのびる海底谷が存在し、その一つの北西方向にのびる海底谷の南東方向の延長線上には直線的な尾根線が続いているので、この海底谷は断層に沿って形成されたと考えられる。

調査海域の中央部には長軸が北東—南西方向にのびる楕円形の高まりが存在し、その南方には頂部が平坦な台地状の高まりが2か所分布している。

北緯24度32分付近には、楕円形の高まりを切るように東西にのびる断層崖と思われる極めて直線的な海底地形が存在し、その南側にはほぼ三角形の凹地が分布している。

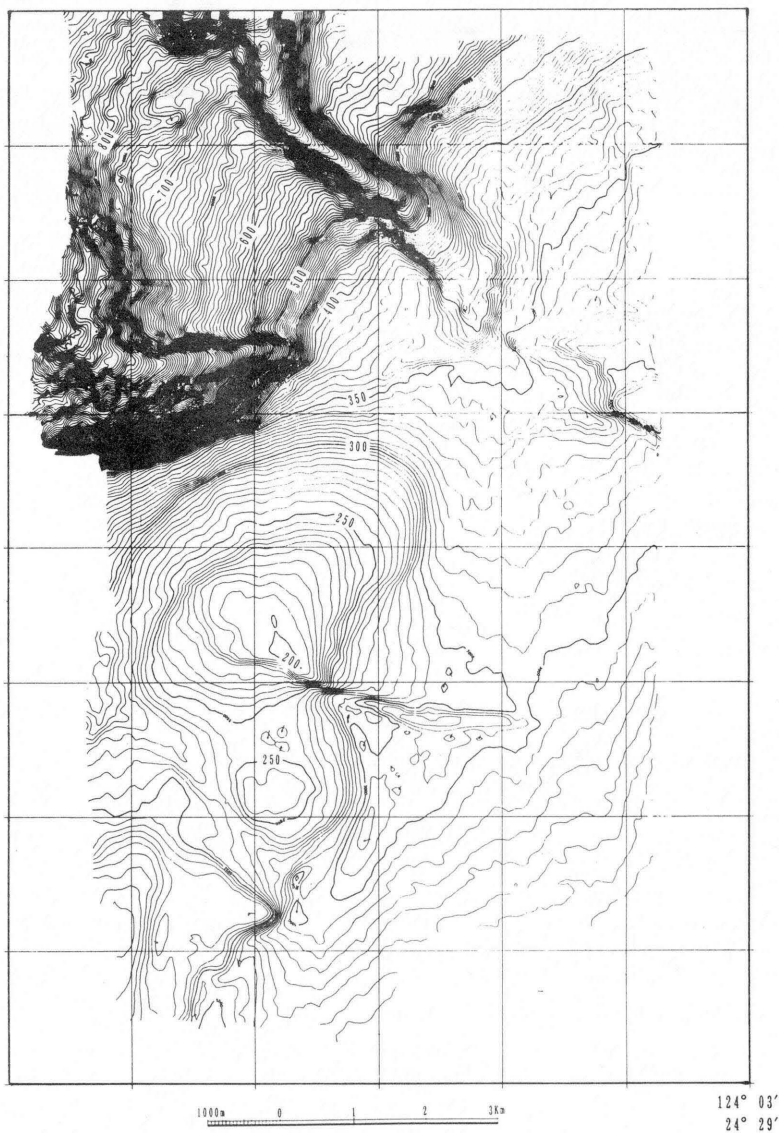
なお、水路部で平成2年度に調査・刊行された5万分の1沿岸の海の基本図「西表島北部」の北東部の海域に火成岩体と推定された孤立した3つの高まりは、今回の調査結果ではいずれも尾根地形に当たり、他の場所にも海底噴火の際に形成された噴火口等の顕著な火山地形は識別されず、この海底地形図によっても大正13年10月の海底噴火位置を特定することは困難であった。

---

\* Received 27 July, 1991

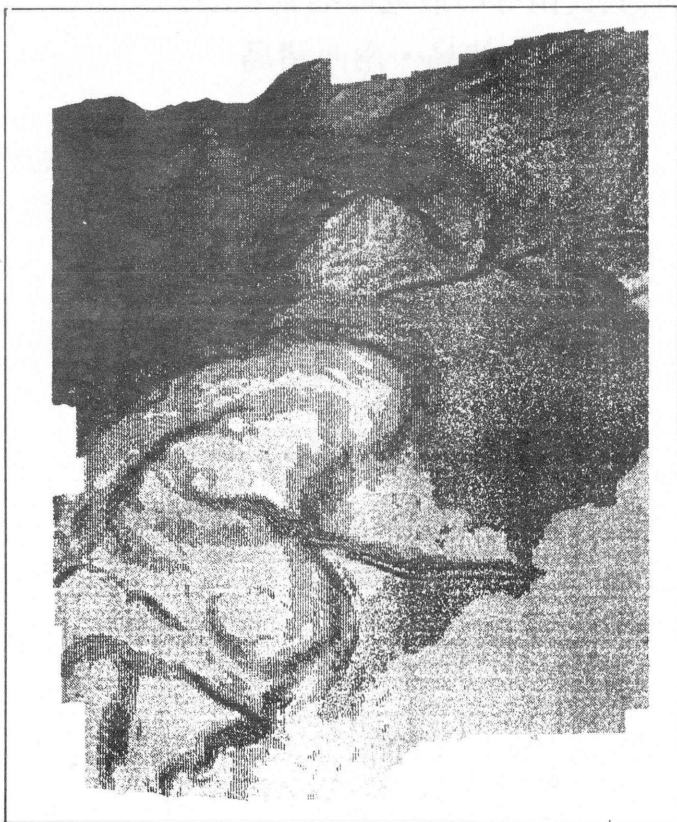


123° 51'  
24° 37'



西表島北東沖海底地形図

Bathymetric chart of the north - eastern waters off Iriomotejima



西表島北東沖の地形鳥瞰図

3-D image map of the north-eastern waters off Iriomotejima